	⑸　充電装置（車体と一体となっているものに限る。）	①　タイマーの作動の適否を調べる。	①　正常に作動すること。
		②　マグネットスイッチの作動の適否及び充電状態を調べる。	②　マグネットスイッチが正常に作動し、かつ、充電状態が正常であること。
		③　充電用コード及びコンセントの損傷及び荒れの有無を調べる。	③　損傷及び荒れがないこと。
	⑹　バッテリー	①　電解液の量を調べる。 ただし、液量を確認できない構造のバッテリーについては、インジケーターの表示確認又は電圧測定により、バッテリーの充電状態を確認すること。	①　電解液の量が過多又は過少でないこと。 インジケーターの表示確認又は電圧測定による場合は、表示又は測定値が当該車体の構造及び性能に照らし、適正であること。
		②　電解液の比重を調べる。 ただし、液量を確認できない構造のバッテリーについては、①の検査により省略することができる。	②　比重が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
		③　すべての電槽の電圧を調べる。	③　電圧が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
		④　端子の緩み、損傷及び腐食の有無を調べる。	④　緩み、著しい損傷及び腐食がないこと。
		⑤　容器の損傷及び液漏れの有無を調べる。	⑤　損傷及び液漏れがないこと。
		⑥　バッテリーコード及びコネクターの損傷の有無並びに接続の適否を調べる。	⑥　損傷がなく、かつ、接続が適正であること。
4 動力伝達装置	⑴　クラッチ	①　アイドリング状態でクラッチを切り、異音の有無を調べるとともに、トランスミッションを変速し、クラッチの切れ具合を調べる。	①　異音がなく、かつ、クラッチが完全に切れること。
		②　クラッチを徐々に接続し、発進の具合を調べる。	②　滑りがなく、かつ、接続が円滑であること。
	⑵　クラッチペダル	①　操作してペダルの重さ及び戻り具合を調べる。	①　重さ及び戻り具合が適正であること。
		②　ペダルの遊び及びクラッチが完全に切れたときのペダルと床面との隙間を調べる。	②　ペダルの遊び及びペダルと床面との隙間が過大又は過小でないこと。
	⑶　マスターシリンダー	①　クラッチペダルを操作し、油漏れの有無を調べる。	①　油漏れがないこと。
		②　リザーバータンク内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
	⑷　クラッチレリーズシリンダー	シリンダーに圧力をかけた状態で放置し、油漏れの有無を調べる。	油漏れがないこと。
	⑸　トランスミッション	①　レバーを前進又は後進に入れ、車体を駆動させて作動の適否並びにレバーの抜け及び異音の有無を調べる。	①　正常に作動し、かつ、レバーの抜け及び異音がないこと。
		②　ケース内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
		③　ケースからの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
	⑹　トルクコンバーター	①　負荷をかけ、異音の有無を調べる。	①　異音がないこと。
		②　ケース内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
		③　ケースからの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
		④　中立及び各変速位置でのレバーのがたの有無並びに入り具合を調べる。	④　著しいがたがなく、かつ、操作が円滑であること。
		⑤　レバーを中立にし、エンジンの回転を上げて車体の動きを調べる。	⑤　車体が動き出さないこと。
		⑥　インチングペダルを最大限に踏み込んだ状態のまま、レバーを前進又は後進に入れ、エンジンの回転を上げて車体の動きを調べる。	⑥　車体が動き出さないこと。